

# ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

通常投映時間・内容(1月～3月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
フィールドオブヘブン 妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい! ほしのおはなし(星空解説)	3D プラネタリウムへの招待 プレアデス神話 妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい! 星空解説 ※3/18(土)「親子プラネタリウム」は別内容となります。	星の一生 星と海に抱かれて アジアヒーリング 星空解説

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

## 観覧料

高校生以上(個人)	510円
高校生以上 (団体20名以上)	410円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート1枚につき、高校生以上1名無料

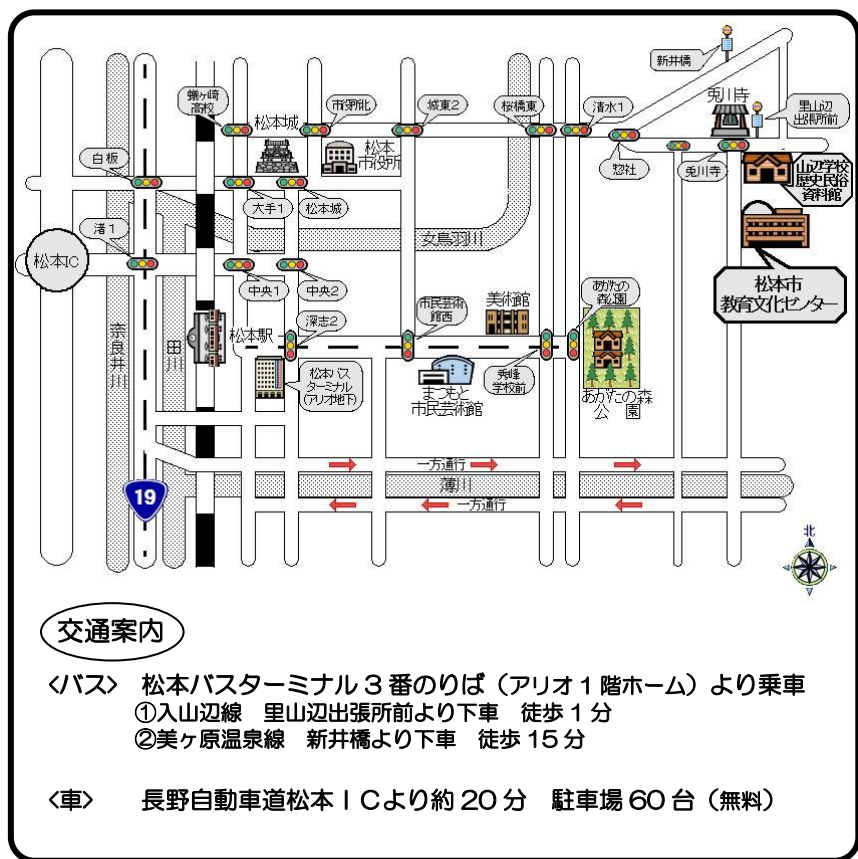
☆転入世帯優待券1枚につき、1世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、本人とその介助者1名無料

☆市内在住70歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

## アクセス



## 松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

☆ 教育文化センター プラネタリウム通信 ☆ ☆

# ほしみる

No.45 2017.3.1

## 星座ができるまで・前編

私たちが普段使っている星座は、何千年も前に作られ、名前や形を変え、現在まで続いています。現在の星座ができるまでを、西洋と中国の歴史を通して前後編でご紹介します。

### 西洋の星座

**紀元前3000年頃**  
メソポタミア地方(現在のイラク)にて、星座のようなものが作られる。紀元前6～7世紀にはすでに黄道十二星座が存在する。

**紀元前2000年頃**  
フェニキア人(現在のシリア付近)によって、貿易相手であった古代ギリシャに、メソポタミアの星座の知識が伝わる。

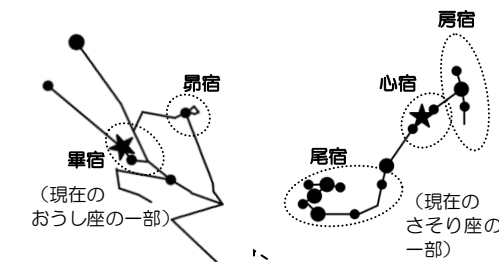
紀元前1800年頃の記録には、オリオン座は「天の狩人」、おおぐま座は「荷車」として存在しています。

**紀元前9～3世紀末**  
ギリシャの古典に星座の描写が現れ、以降、星座を基にギリシャ神話が多く作られるようになる。

☆ トレミーの48星座に含まれたのは、黄道十二星座やはくちょう座、カシオペア座など、現在も使われる星座たちです。なくなったのはアルゴ座のみです。☆

**2世紀**  
ギリシャのプトレマイオスにより、現在の星座の原型である「**トレミーの48星座**」が作られる。以後、16世紀までずっと使われ続ける。

### 中国の星座

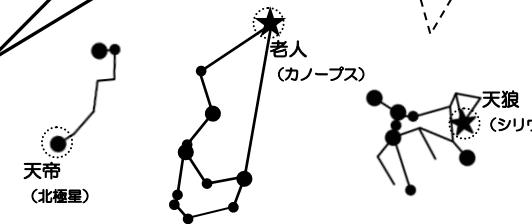


二十八宿にはこのようなものがあります。他にベガス座やオリオン座、アンドロメダ座の一部などがあります。

**紀元前8～6世紀**  
中国で、月の動きを基にした「二十八宿」という星座が作られる。

**紀元前5～4世紀**  
当時の身分制度を反映した「**星官**」と呼ばれる星座が作られる。

特に目を引く星は、その星だけで1つの星座とされていました。



### 西洋と中国の星座の違い

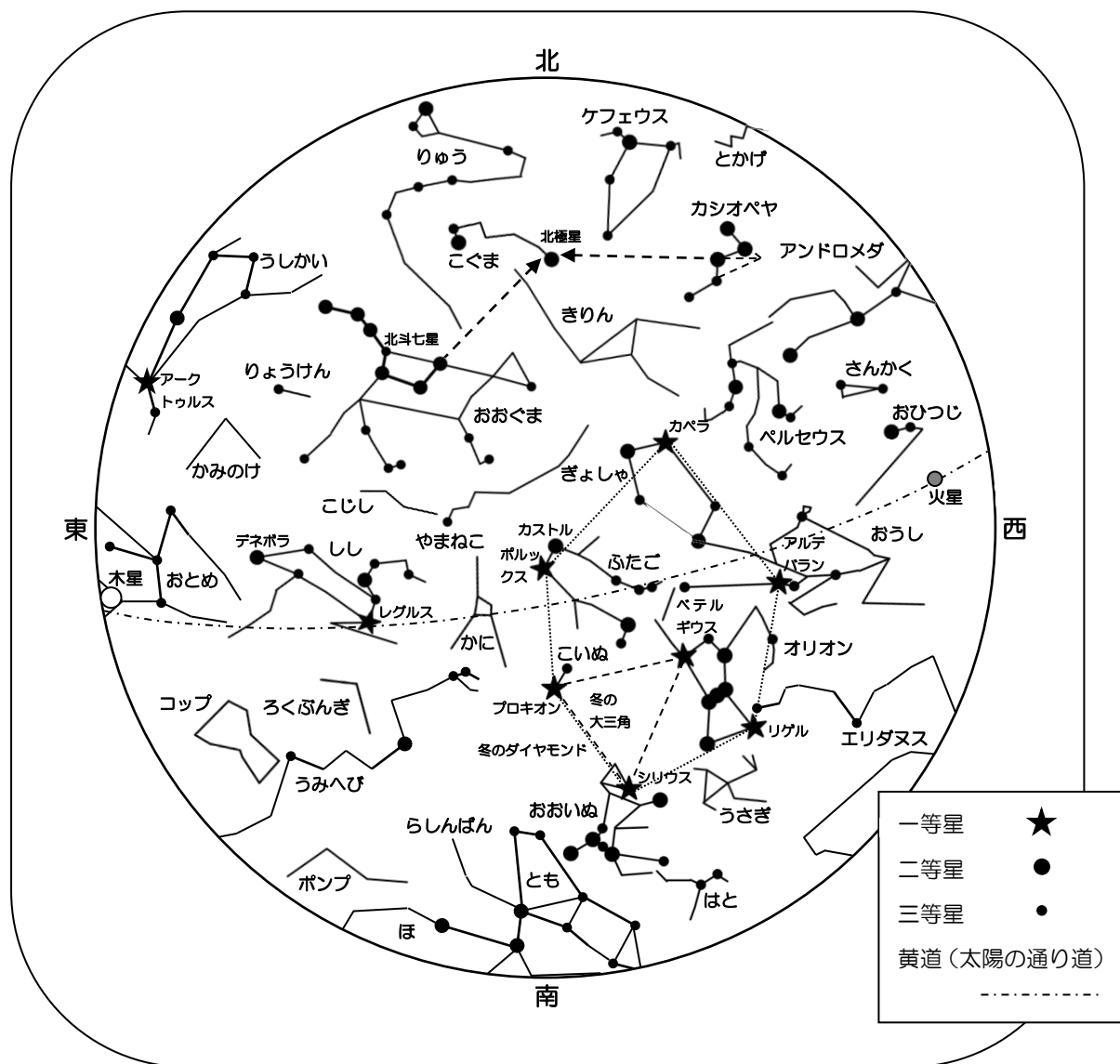
大きな違いは、西洋が黄道(太陽の通り道)上に重要な星座を置いたのに対し、中国では「**天の北極**」と「**天の赤道**」を重要視して星座を作った点です。天の赤道(天球上に赤道を反映したものを月の周期である28で分割し、それぞれに星座を当てはめたものが二十八宿です。また、天の北極(北極星)周辺に帝や貴族など高い身分を置き、遠ざかるほど低い身分となるように作られたのも特徴です。身分制度の反映を優先したため、星と星をつないだ形と名前が一致しないことや、1つの星からなる星座も存在します。星と星をつないだイメージを人物や動物の姿に見立てて星座を作った西洋とは対照的です。

後編につづく...

**星空クイズ!(古代の星座編)**  
古代中国で「天狼」と呼ばれていた星は?  
①北極星 ②シリウス  
③フォーマルハウト ④カノープス

# 季節の星空

3月15日20時頃の松本の星空



## 3月の主な天文情報

- 1(水) 月と金星、天王星が接近(日没~20時頃)
- 2(木) 月と火星が接近(日没~20時45分頃)
- 12(日) 満月
- 14(火) 月と木星が接近(21時頃~明け方)
- 20(月) 春分の日
- 21(火) 月と土星が接近(1時頃~明け方)
- 28(火) 新月
- 29(水) 細い月と水星が接近(日没直前)
- 30(木) 細い月と火星が接近(日没~20時頃)

## ☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

- 3/18(土) ☆親子プラネタリウム 13:30~  
親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。  
今回のテーマは「プラネタリウムで〇〇旅行へGO!」です。  
申し込み不要。当日先着90人
- 3/25(土) ☆星空散歩・星の観望会 19:00~20:30  
天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。  
(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧ください。)  
受付開始:3/18(土) 8:30より  
定員:40人(小学生以上。高校生以下は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

## 春休みプラネタリウム

小・中学校の春休み期間に合わせて、特別プログラムで投映します。お子さまが楽しめる番組や星空解説をご用意しておりますので、ぜひ足をお運びください。

☆日時:3/22(水)、23(木)、24(金)、28(火)、29(水)

①11:00~、②13:30~の2回

☆投映時間:各回50~60分程度

☆料金:通常料金(裏面をご覧ください)

日にち	11:00~	13:30~
22(水)	プレアデス神話 おおぐま座こぐま座神話 夜空の星の物語・オリオン	かぐや姫 かぐやと KAGUYA ~月が地球にくれた贈り物~
23(木)	おとめ座物語 こぐま座のティオ 星空だいぼうけん	4D2U 地球と月の誕生 1秒ちょっと前の月
24(金)	太陽系の惑星 たいようくんとおつきちゃん	宇宙望遠鏡 宇宙~その大きさを感じてみよう~
28(火)	Cosmic Safari エコとロジーのわくわく太陽系めぐり	星はなぜ光る -ゴラゴン・デパートへ行くの巻- 宇宙どこまであるの?物語
29(水)	3D プラネタリウムへの招待 妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい!	4D2U コズミックビュー 遙かなる銀河へ

※番組に加えて、毎回10~15分程度の星空解説を行います。